

【こどもの城】では、さまざまな専門分野のスタッフが活動しています。スポーツ遊びや造形遊び、音楽遊び、映像遊び、仲間作りのための遊びなど、“遊びのプログラム”を考えて、みんなに楽しんでもらうほかに、子育ての手助けをしたり、心や体の健康のことを考える部門もあります。

今月は、1・2歳の親子を対象とした「よちよちクラブ」を中心に、子育ての手助けをする保育研究開発部門の活動を紹介します。

保育の「よちよちクラブ」(1・2歳の親子対象)

## 子育ての楽しさもりたて



用意してあるおうちやち、子どもたちが豊かな遊びができるように、スタッフが選んだもので。

### 子ども“のびのび”、親“リラックス”

「よちよちクラブ」は、「土曜企画」の1つとして平成10年にスタートしました。「土曜企画」は、子育てをお手伝いするプログラムで、1・2歳の親子と3～5歳の親子をそれぞれ対象として、いろいろな“親子遊び”を行ってきました。今年度は1・2歳の親子をおもな対象として、「よちよちクラブ」という名前に統一して、毎月1・2回、開催する予定です。

「よちよちクラブ」は子どもだけでなく、親もリラックスして楽しく子育てをしてほしいと願い、親子でゆったりとした時間を過ごしてもらえらる場として作られました。小さい子どもと親がいっしょに、気軽に参加して、家庭とは異なる環境のなかで、子どもたちはのびのび遊び、親には子育てを楽しんでもらおうというものです。



お母さん、お父さんの目のように笑って、みんなで笑顔を楽しみます。



### “感覚”を使って体で体験

“保育”の経験をかかして、子どもの年齢や発達を考えたプログラムを行っています。例えば、小麦粉ねんどで遊ぶプログラム。油ねんどで造った手ざわりやにおい、ねんどをいじっているうちに、その形からいろいろなものへと想像を広げていったり——子どもたちが、いろいろな感覚を使って体で体験できるようにしています。

いろいろな感覚を刺激するために“スタンピング”、さまざまな形の野菜スタンプを貼るのび遊びます。

### 1つ1つをていねいに体験させる

絵本やパネルシアターなどでも、いっしょに楽しむだけでなく、どういうものに興味や関心をもっているのかを、子どもが選んでいる中から見つけ出して、子育てに役立ててもらおうようにしたり、楽しい子育ての手助けをここがけています。

子どもにとっては“初めて”のことが多いので、その出会いを大切にしたいと思えます。一度には覚えきれないから、1つ1つをていねいに、じっくり、ゆっくりと子どもに体験させます。

また、お父さん、お母さんもいっしょに参加することで、ほかの親子とのふれあいや交流にもつながっています。

今年最初の「よちよちクラブ」は5月20日に開催されます。プログラム内容や今後の日程、参加方法などについては、保育研究開発部【☎03-3797-5669】へお問い合わせください。



お母さん同士も、おしゃべりでリラックス。よちよち子どもや親子の様子を見ていいることが、子育てのヒントにもなります。